

『PRIDE指標2021』 オンライン説明会

コレクティブ・インパクトが 日本社会にもたらす影響と 企業の役割について

2021年2月25日

NPO法人ETIC. 番野 智行



特定非営利活動法人エティック（略称：ETIC.）

- 設立：1993年 法人化：2000年3月
- 年間予算：約6.8億円（2019年度）
- スタッフ数：専従43名＋業務委託50名以上
- 所在地：東京都渋谷区（ほぼ完全在宅勤務中）

人をつくる
社会をつくる
日本をつくる





1997-
次世代リーダー育成 4500名以上



2002-
社会起業家支援 1600名以上



2005-
地域の行政・NPOと連携した
ローカルベンチャー支援
全国60地域と連携協働



2011-
企業の社会価値創造支援
(CSR/CSVコンサルティング等)

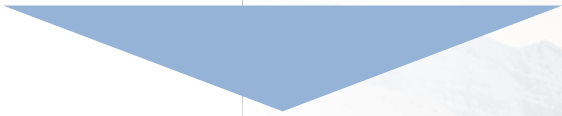
特にNPO・社会的企業の支援において国内随一の実績



なぜコレクティブ・インパクト？

抱えていたジレンマ

- Year Up（米国の就労支援NPO）は、2001年の**設立当初は1都市で22人の**学生にサービスを提供するところから出発した。
- **2014年には12都市で2000人以上の**対象者にサービスを提供しており、大きく飛躍した。



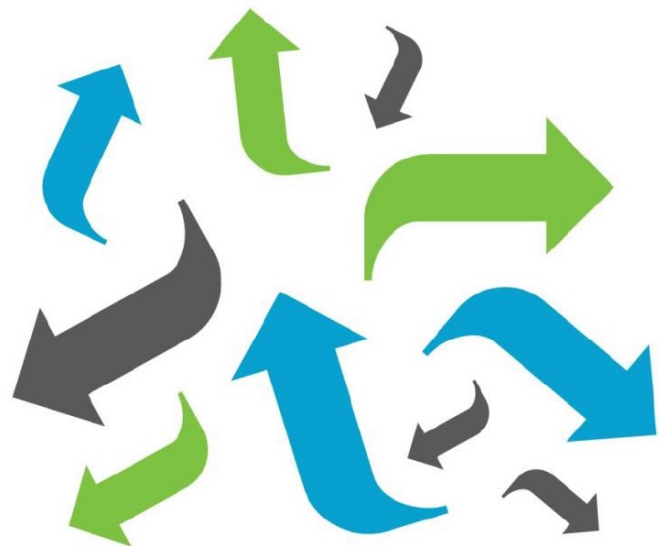
- しかし、個別の団体の成功には限界がある。Year Upも**全米で670万人にものぼる低所得の若者無業者のほんの一部**にリーチできているに過ぎない。



こうしたジレンマを多くのリーダーや
仲間と抱えていた時に出会ったのが
「コレクティブ・インパクト」という考え方

米国の社会課題解決領域のコンサルティングファームFSG社のJohn Kania氏とMark Kramer氏が、2011年にStanford Social Innovation Reviewにて発表。

特定の複雑な課題を解決するための、
異なるセクターの
重要な当事者（actors）からなるグループによる、
共通のアジェンダに対するコミットメント



Isolated Impact

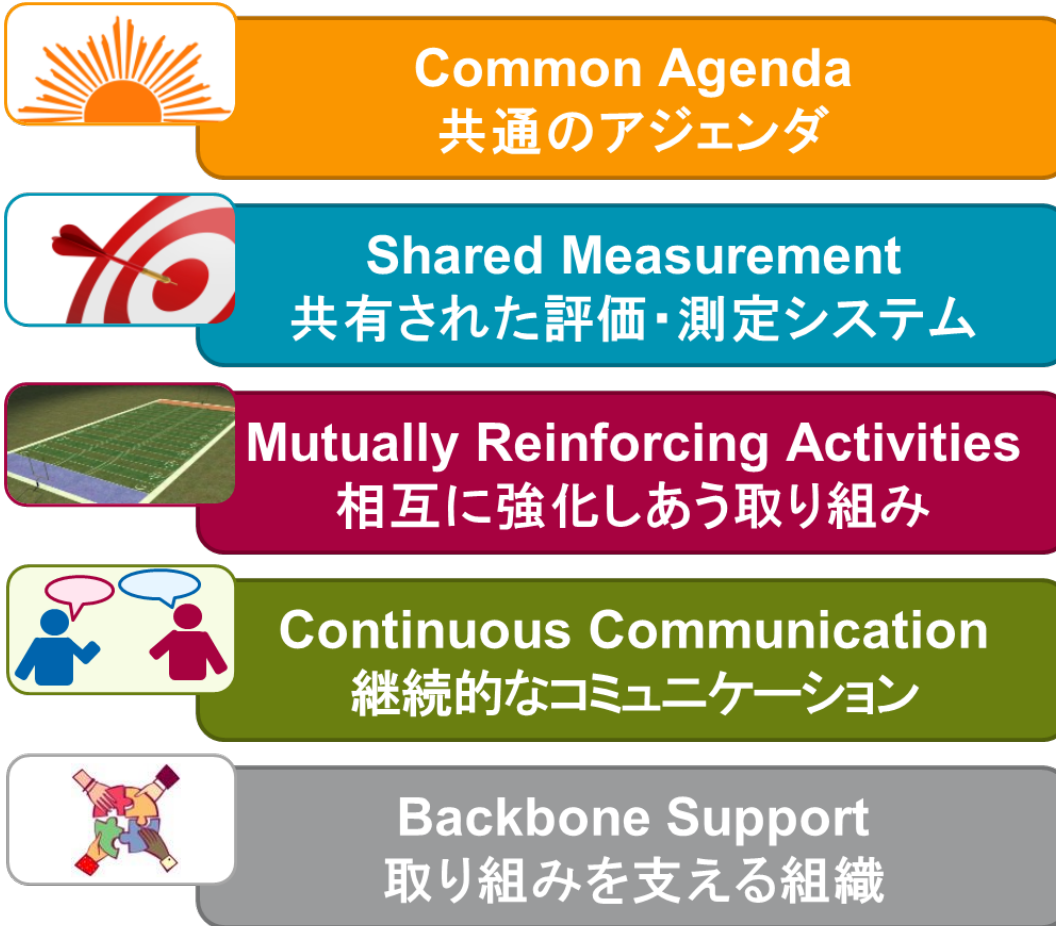
各プレイヤーは努力するも
バラバラ・個別的



Collective Impact

各プレイヤーが力を持ち寄って
集合的に成果を目指す

異なるセクターの重要な当事者が参画し、社会変革の実現に成功した事例をリサーチし、共通する「5つの要素」が抽出された。



5つの条件は著者の二人が発明したものではない。CIの論文発表以前からある数十件の優れた取り組みを調査し、共通する要素をまとめたものだ。これをまとめたことで、これから取り組む人たちは社会変革のやり方や考え方について仲間と共有しやすくなる。そして、実践により多くの時間を割くことができる。



(Philippe Sion氏
元FSG Managing Director)

具体例
(今日をあえて日本の事例を...)

企業による技術革新
(エアバッグ、ABS等)

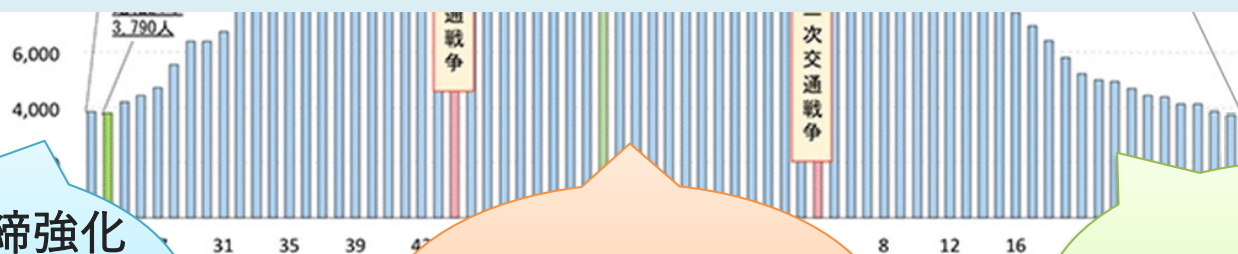
飲食店による
ドライバーへの
アルコール
不提供

医療技術の進歩
・ AED普及等

交通事故死者数の推移 (昭和23年～平成30年)



重要な当事者たちが、共通の指標も見ながら、それぞれの立場でできることに取り組んだことの集合的な結果 (collective impact) として状況が改善



法整備・取締強化
(飲酒運転厳罰化、
シートベルト
着用義務化)

マスコミによる
報道

交通安全教育・
啓発活動

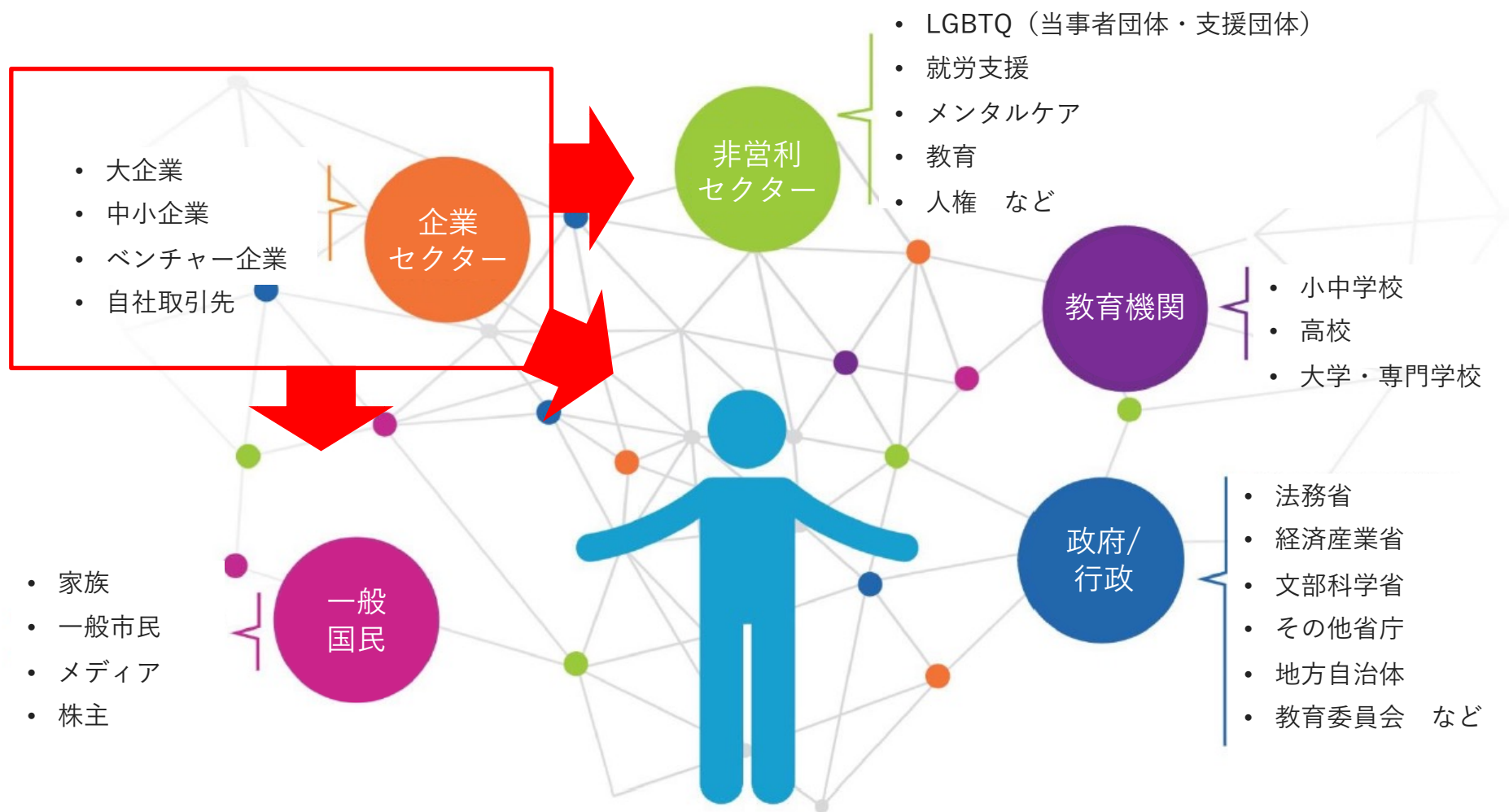
work with Prideと
コレクティブ・インパクト



LGBTQが働きやすい職場づくりを日本で実現するための、
企業・団体等の枠組みを超えた
重要な当事者（actors）からなる
グループによるコミットメント

wwP参画企業・団体の個別の取り組みは進み、社会的な流れを作りつつある。
次は「企業・団体等の枠組みを越えて力を合わせ、社会全体の進化を目指しましょう」
...というwwPの次のステージに向けた投げかけ

自社だけでできることは継続し、その上で企業・団体の枠組みを越えて、社会システムの変化に対してより積極的にコミットして欲しい。



外部支援者
(資金提供・プロボノ等)



課題解決・ビジョン実現の
当事者

社内

社外



特に「LGBTQが働きやすい職場づくり」というテーマでは
企業が当事者として果たしうる役割が大きい！

何から始めればいい？

「LGBTQが働きやすい職場づくりを日本で実現するには何が必要なのか？」

「その中で自分たちが果たす役割は何なのか？」

...企業や団体を越えた対話と協働関係構築を改めてはじめてみては

